

みちのく森の楽校だより

この「里山地区」には、薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡も残っています。

みちのく公園ではこの「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。



シミ大根

2019年 12月号

12月21日(土) 晴れ

里山のお正月準備！

里山の年末は、恒例の餅つきとお正月飾りづくりです！

前の日からもち米をうるかし、アンコを煮ておきました。門松用には太い竹を伐採しておきました。

餅つき！

杵と臼を使っての昔ながらの餅つき！

子どもたちもがんばりました。

つきたてのお餅をパクッと一口！

お味は、雑煮、アンコ、ズンダ、何より忘れてはいけないのは、石臼で挽いた大豆、黄な粉です。これは力が要るのです。香ばしい香りが小野分枝に漂っていましたよ！



黄な粉もち



ずんだもち



あんこもち

お正月飾りいろいろ

ご家庭用のミニ門松やしめ縄は、各人でそれぞれが好みで作ってお持ち帰ります。松、竹、梅、ササ、南天、みんな里山の恵みです。



小野分枝前には、ゴボウ締めも飾りました。



大きな門松

